

外観



比良山地を背景に、琵琶湖畔の烏丸半島に位置。ロビーやレストランなどのパブリックスペースの上部に、丸子船の船底をイメージした三日月型平面大屋根を架け渡して、おらかな広がりを感じさせる。

水族展示室 入口



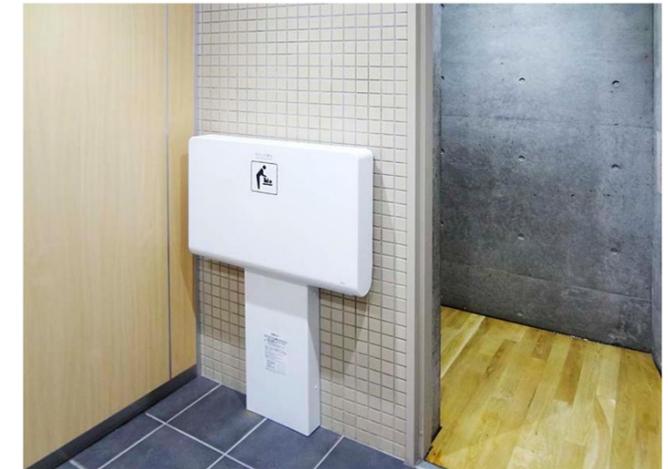
水族展示室では、琵琶湖に生息する様々な生き物の展示を中心に、日本の希少な淡水魚、および世界の代表的な湖の魚類の展示を行っている

水族展示室入口横 女性トイレ 洗面コーナー



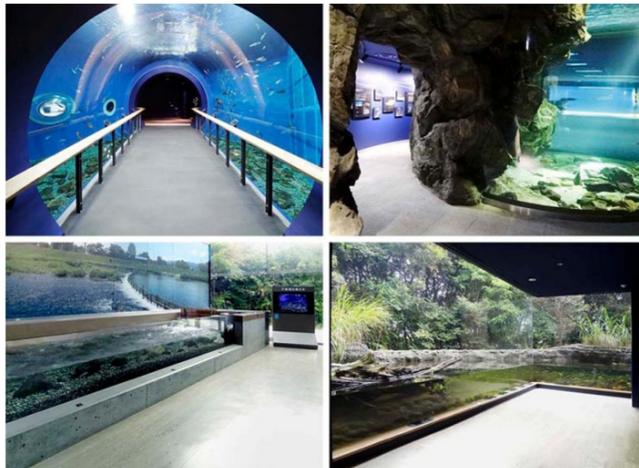
洗面器は、鏡との距離が近く、お化粧直しがしやすい壁掛ハイバック洗面器を採用。洗面器の内1ヶ所はお子様の使いやすさを考慮して低めに設置している。

水族展示室入口横 女性トイレ おむつ替えコーナー



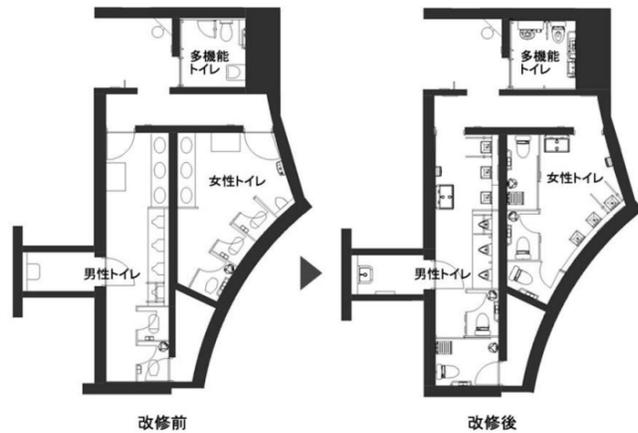
トイレ空間内に、ベビーシート(おむつ交換台)を設置。小さなお子様連れに配慮している。

水族展示室 内観



琵琶湖の代表的な環境を大水槽で再現し、生態展示を行っている。トンネル水槽(左上)。固有種のビワコオナマス(右上)。漁具カントリーヤナを再現(左下)。下流域の景(右下)。

水族展示室入口横 トイレ図面



空間レイアウトを変更し、男女トイレともに1ヶ所ずつ、ベビーカーごと入ることができる、ひろびろブースを設置した。

水族展示室入口横 女性トイレ 大便器ブース



大便器は、節水性の高いパブリックコンパクト便器フラッシュタンク式を採用。プライバシーの確保と2度流しを減らすことで節水に繋がる音姫(擬音装置)機能を搭載した、ウォッシュレットPを設置。

水族展示室入口横 女性トイレ ひろびろブース



ベビーカーごと入ることができる、ベビーシート・フィッティングボードを備えたひろびろブースを1ヶ所設置。フィッティングボードは、パンツタイプのおむつ交換や子どもの衣類着脱に利用できる。

水族展示室入口横 トイレ入口



トイレ入口には、だれでもわかりやすいように、トイレ使用対象者とその設備が、ひと目でわかるサインを表した案内図を掲示している。

水族展示室入口横 女性トイレ 全景



明るいナチュラルカラーの木目調の内装材を採用。大便器ブースの壁には、トイレ内の設備がひと目でわかるサインを掲示している。

水族展示室入口横 男性トイレ 全景



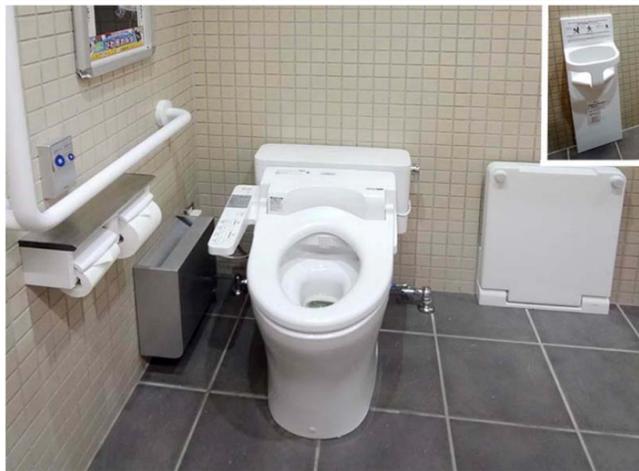
お子様連れに配慮し、男性トイレにもベビーカーごと入ることができるひろびろブースを設置(写真奥)。さらに、洗面の対面には、ベビーシート(おむつ交換台)を備えている。

水族展示室入口横 男性トイレ 小便器コーナー



シンプルデザインと大幅な節水を実現した自動洗浄小便器を採用。荷物配慮として、小便器間にフックを設けている。高齢者やつえ使用者に配慮し、1ヶ所は小便器用すりを設置。

水族展示室入口横 男性トイレ ひろびろブース



お子様連れの方に配慮し、ベビーカーごと入ることができる、ベビーチェア・フィッティングボードを備えたひろびろブースを設置。

水族展示室入口横 多機能トイレ



さまざまな身体状況の方に配慮した多機能トイレ。オストメイトの方への配慮としてオストメイト対応トイレパックを設置した。

水族展示室内 男性トイレ 洗面・おむつ替えコーナー



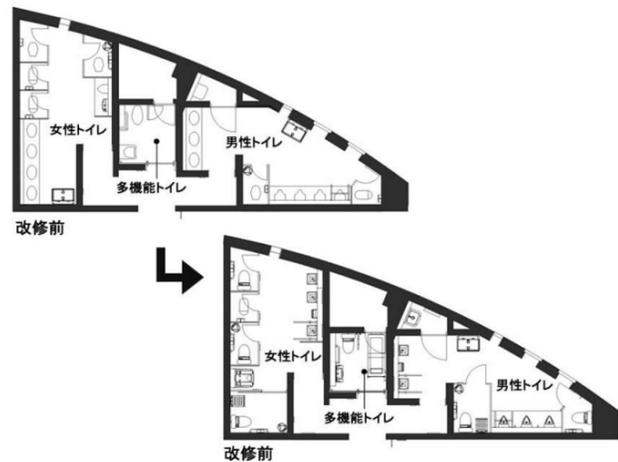
洗面器の水栓金具は、ノンタッチで水の出し止めができる壁付自動水栓を採用。お子様連れに配慮し、男性トイレ内にも、ベビーシート(おむつ交換台)を設置している。

水族展示室内 男性トイレ 小便器コーナー



小便器コーナーの対面には、水槽を設置。水族展示室ならではの演出として、琵琶湖に生息する魚を鑑賞することができる。

水族展示室内 トイレ図面



男女トイレともに、お子様連れに配慮し、ベビーカーごと入ることができる、ベビーチェア・フィッティングボードを備えたひろびろブースを設置。

水族展示室内トイレ 入口



館内の意匠に溶け込むマリンドブルーの壁面が印象的な水族展示室内トイレの入口。だれでもトイレ内の施設配置がわかりやすいように、案内図を掲示している。

水族展示室内 男性トイレ ひろびろブース



ベビーカーごと入ることができる、ベビーチェア・フィッティングボードを備えた、ひろびろブースを設置。さらに、荷物配慮として、高さ違いで2ヶ所フックを設けている。

水族展示室内 多機能トイレ



さまざまな身体状況の方に配慮して、収納式多目的シートを設置。また、オストメイトに配慮し、パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれを設置している。

水族展示室内 女性トイレ 全景



お子様連れに配慮し、ベビーカーごと入ることができるひろびろブースを設置(写真奥)。さらに、トイレ空間内におむつ替えコーナーを完備している。

水族展示室内 女性トイレ



高齢者やつえ使用者に配慮し、すべての大便器ブースにL型手すりを設置。一部のブースには、お子様連れに配慮して、ベビーチェアを備えている。

建築概要

名称	滋賀県立琵琶湖博物館
所在地	滋賀県草津市下物町1091番地
施主	滋賀県
設計	株式会社大建設
建築施工	杉橋建設株式会社
設備施工	川瀬産商株式会社
竣工年月	(改修)2016年7月

水まわりの特長

**<改修の経緯>**  
 琵琶湖博物館は、琵琶湖の価値を広く発信するとともに、みんなで湖と人の共存関係を考えるための材料と機会を提供する社会教育施設。2016年に開館20周年を迎え、900万人を超える来訪者を誇る(2014年末)。新しい時代の学びの場を提供するため、C展示室・水族展示のリニューアルにあわせ、以前から要望のあったトイレの改修を実施した。改修にあたっては、お客様アンケートで指摘されることが多かった「ブースが狭い」「器具が古い」などの問題を解消するとともに、お子様連れ・高齢者配慮を充実させた。

**<トイレの特長>**  
 水族展示室の2ヶ所の男女トイレ・多機能トイレの改修を実施。環境学習の観点から、節水性の高い器具を採用。小便器は自動洗浄小便器、大便器はパブリックコンパクト便器フラッシュタンク式とした。さらに、改修前にはなかった温水洗浄便座を設置し、来館者の快適性にも配慮。また、男女トイレともに、ベビーカーごと入室できるひろびろブースを設け、ベビーチェア・フィッティングボードを設置したほか、一部の大便器ブース内にもベビーチェアを備えた。さらに、おむつ替えコーナーを設けるなど、お子様連れ配慮の充実を図っている。また、さまざまな身体状況の方に配慮し、汚物流しや大型ベットなど多機能トイレの設備も充実させた。